

二代目 佐々木光儀



千葉楽斗

一 民謡と津軽三味線の生演奏はいかがですか。
二 日本の伝統音楽研究をご存知ですか。
三 演奏を身近に感じてみませんか。

調布三田会 秋の音楽会

2023年10月1日(日) 13:00 (12:30開場)

調布文化会館たづくり12F 大会議場



Coffee Break

飲み物と茶菓子 付

2,000 円

申込締切

2023年9月16日(土)

問い合わせ先

担当者：柳谷 一郎（やなぎや いちろう／1980年 法 卒）

Eメール：contact@chofu-mitakai.com

調布三田会URL：http://chofu-mitakai.com/

プロフィール



千葉楽斗
(ちばがくと)

北海道網走市出身。

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
博士課程1年。

5歳より民謡を菅野孝山に師事。6歳より津軽三味線を始める。12～15歳で津軽三味線全国大会3大会で優勝を果たすと同時に本格的なソロ活動を行う。その後、慶應義塾大学環境情報学部進学を機に上京。20歳には津軽五大民謡を三味線で綴る1stアルバム「誠音 -MAKOTO-」をリリース。現在、学校公演や公民館事業、美のカリスマIKKOディナーショーツアーの演奏を担う一方で、比較音楽学・民俗音楽学を専門とし、質的・量的アプローチを組み合わせた異文化間の音楽における普遍性や多様性を研究。2023年5月23日には国際学術誌「Collabra: Psychology」に研究論文が出版された。演奏者かつ研究者として日本の伝統楽器「津軽三味線」を世界に発信する第一人者である。

茨城県水戸市出身。

祖父母の影響を受け5才より津軽三味線佐々木光儀流に入門する。16才より津軽民謡・唄付け伴奏を故福士豊秋師、二代目成田雲竹女師に師事。大学進学で上京を機に唄を石川きよ美師に師事する。今年四月に開催された第26回津軽三味線コンクール全国大会において優勝をおさめるなど、数々の津軽三味線全国大会で優勝を果たす。2023年、津軽三味線佐々木光儀流の二代目家元を襲名し、高森彩花改め、二代目佐々木光儀となる。津軽三味線の魅力を伝えるべく、現在では東京都と茨城県内で津軽三味線教室を開講、浅草の民謡酒場「和ノ家 追分」にて専属演奏者として出演しつつ全国各地で演奏活動中。



二代目
佐々木光儀
(ささきみつよし)

<出演者の連絡先>

Eメール: live.shamisen@gmail.com

ウェブサイト: <https://www.gakuto-chiba.com/>

ウェブサイト: <https://www.shamitsuaoi.com/>

